

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎中学校

教科	技術		学年	3
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準	
計測制御システムについて	3	身の回りにおける計測・制御システムについて調べる。	計測・制御システムの基本的な構成を理解する。また、計測制御システムにおけるプログラムの役割を理解する。	
計測制御システムの製作	5	電気回路の製作で身に付けた技術を確認する。	はんだ付けなど、電気回路の製作で身に付けた技術の確認をし、機器の特性を理解する。	
プログラムの製作	4	適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックをおこなう。	入出力されるデータの流れをもとに、計測制御システムを構想する力を理解する。	
双方向性のあるコンテンツのプログラム	3	双方向のコンテンツにはどのようなものがあるか理解する。	双方向性の仕組みの基本的な仕組みを理解する。	
これからの情報技術	3	持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価できる。	
学んだことを社会に生かす	1	3年間の技術の学習内容を振り返り、これからの技術とどのようにかかわっていくか考える。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、これまで学んだ内容を通して創造することができる。	